

# 磯崎式子 富山恵美子 二人展

【開館時間】

10:00 ~ 17:00

(入館は 16:30 まで)

【休館日】 2.4(火)・2.12(水)

【観覧料】 一般 500 円 / 割引 400 円

(65 歳以上、障がい者手帳・  
三溪園入園券をお持ちの方)

# Drawing

— その先へ —

2025.

2.1<sup>Sat</sup>



2.16<sup>Sun</sup>

〒231-0822  
神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7  
TEL:045-629-1150  
FAX:045-629-1151  
公式HP：  
<https://www.yh-g.org/>  
関連HP：  
<https://www.iwata-museum.org/>

横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery



## 「ドローイングとは何か」 Drawing—その先へ— 展示にあたって



鉛筆ドローイングは、海外では絵画や版画などと同じように、美術の一ジャンルであると認識されています。細い線を何度も何度も重ね、最後は面になるまで描き込みます。そこに生み出されるのは、力強くかつ繊細で、作者の心が表現されている作品です。舞台照明の仕事をしていたことがあり、光や影、陰影に惹かれます。鉛筆の色で自作の形を描くことによって、深遠な世界を創造したいと思っています。

—磯崎式子—



11年に亘るスペイン滞在中に、鉛筆や木炭、墨などほとんど色みのない作品の存在を知り衝撃を受けました。Dibujo と呼ばれる濃厚なドローイング作品は表現の密度が高く、油彩や水彩の作品と同列に並んでいました。紙と鉛筆さえあれば、静謐と躍動を同時に、そして軽やかで素直に表現できるのが鉛筆ドローイングの醍醐味だと思います。

—富山恵美子—

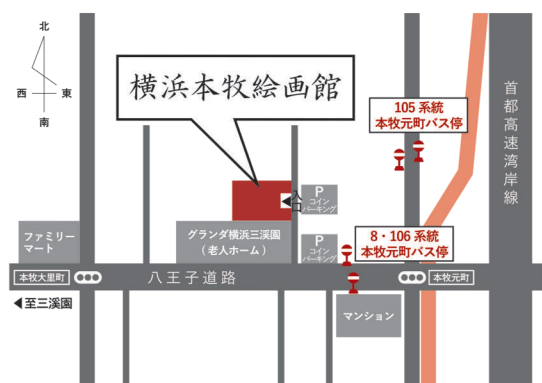
## 横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

### 岩田榮吉(1929-1982)

当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯バリエーション豊かに制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ 17 世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプレイユ（だまし絵）を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)  
※車いす用の来車スペースが1台分あります。ご利用は事前にご連絡ください。



二次元バーコードにて当館の詳細な情報が見られます

### 公共交通機関からのアクセス

#### 元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

#### 横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約40分・徒歩1分

#### 桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統又は2番乗り場から8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

#### 根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車「和田山口」から所要約10分・徒歩1分

磯崎式子  
富山恵美子  
二人展

Drawing  
—その先へ—

作品介绍

※チラシ掲載作品は展示作品の一部です



磯崎式子

《異なる世界—虚構と現実》

2024年 アルシュ紙に鉛筆



富山恵美子

《西風ゼフィロス》

2016年 ケント紙に鉛筆

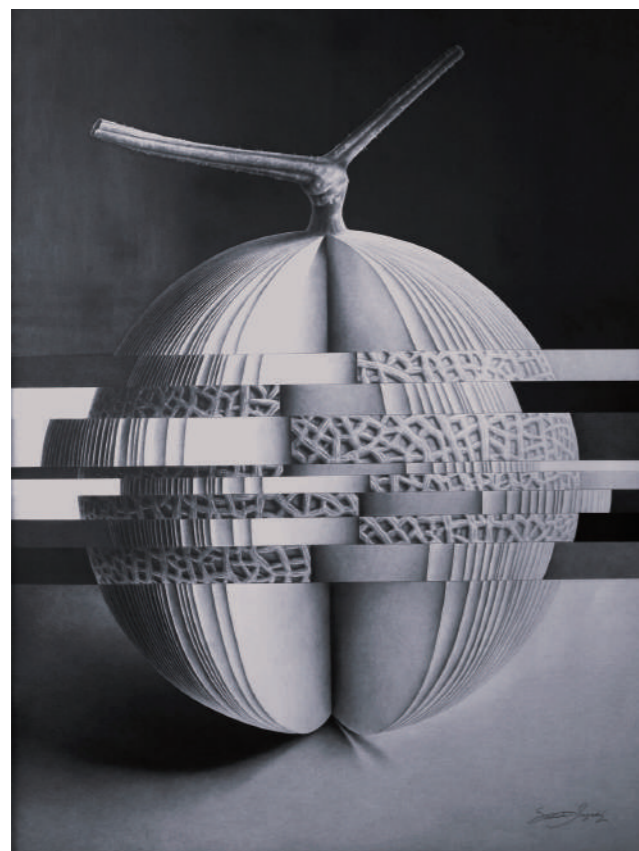


富山恵美子

《幕開け》

2024年

ファブリアーノ紙に鉛筆、アクリル



磯崎式子

《見えてきた形》

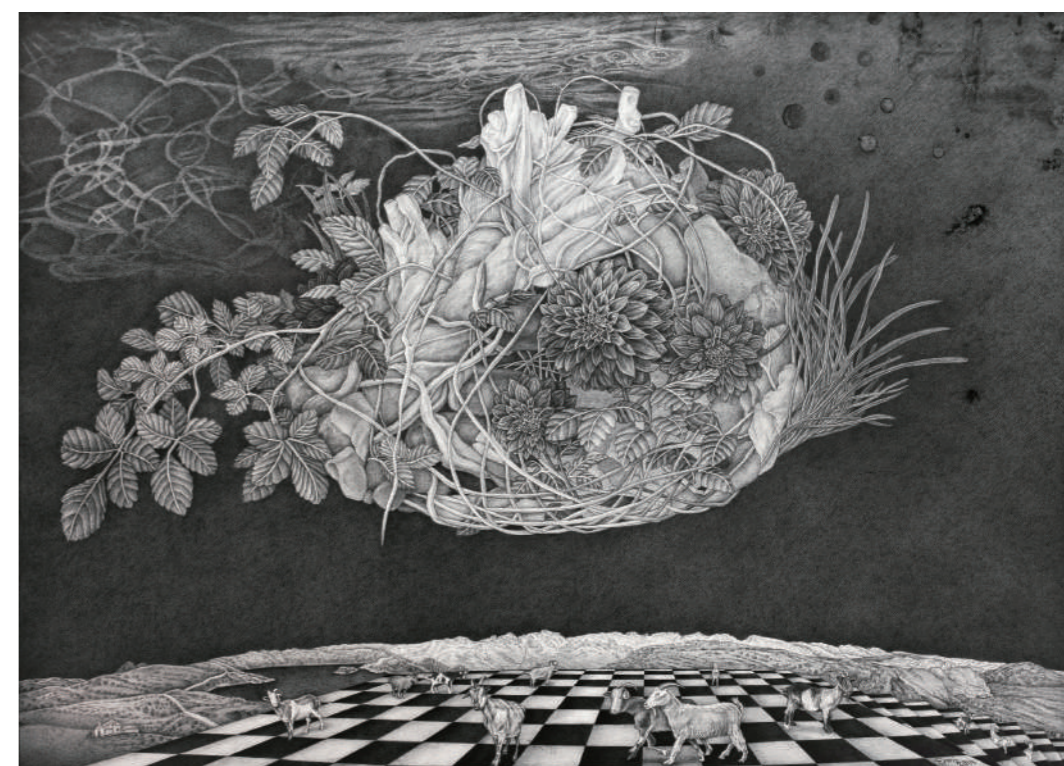
2012年 アルシュ紙に鉛筆



磯崎式子

《響きあうものI》

2020年 アルシュ紙に鉛筆



富山恵美子

《Viajero—旅人—》

2014年 ケント紙に鉛筆